

患者の声を国会に

いきいき通信

東尾張本部発行
〒4610011
名古屋市東区白壁1-50
愛知県白壁庁舎内
一般社団法人
愛知県腎臓病協議会

全腎協一斉請願行動

三月十六日（木）に北海道から沖縄までの患者会が集結し、請願が採択されるよう各政党の国会議員に別で陳情を行いました。陳情に先立って午前中「腎疾患総合対策の早期確立を求めるつどい」を開催し、意思統一を図りました。国会開催中でもありまし

たのでこの集会への国会議員の参加は、入れ代わり立ち代わりといった状況でした。来賓として挨拶を行ったのは、太田房枝、福島瑞穂、森裕子、川田龍平などの参議院議員の方々に、厚生労働委員会での経験や親族の透析生活を見ての経験などから透析患者の苦勞は、

十一時ごろ来賓挨拶をした福島、森両議員が午後には今話題の森友学園理事長の大阪の自宅を訪問していたことをニュースで見ても、集會での慌ただしい様子が納得できました。昼食をはさんで午後は十七人の衆参議員への個別の陳情を行いました。

理解できるので請願が採択されるよう頑張るというメッセージを聞くことができました。余談になりますが、

それぞれの地区本部の陳情議員は次の通りです。

「名古屋本部」

熊田裕通衆議院議員

新妻秀規参議院議員

片山さつき参議院議員

池田佳隆衆議院議員

工藤彰三衆議院議員

神田憲次衆議院議員

伊藤 渉衆議院議員

「尾張本部・西尾張本部」

里見隆治参議院議員

長坂康正衆議院議員

岡本充功衆議院議員

「東尾張本部」

薬師寺道代参議院議員

酒井庸行参議院議員

「西三河本部」

八木哲也衆議院議員

青山周平衆議院議員

大見 正衆議院議員

「東三河本部」

今枝総一郎衆議院議員

太田房枝参議院議員

以上の十七人の方々の議員

会館内の各事務所へ皆さん

に集めて頂いた署名を持つ

て直接訪問しました。

議員ご本人に会えた場合もありましたが、多くは秘書の方に取次ぎをお願いすることになりました。

今回の一斉行動は第四十六次を数え、歴史の重みを感じさせられますが、請願内容も初期とは年々変化してきています。

重点項目は、透析患者がますます高齢化することが顕著であることから、通院が困難になることが予想され、要介護透析患者への医療・福祉サービスの拡充の必要性を求めました。

朝早く名古屋を出発し、日帰りで戻る日程でしたが、正直疲れました。しかし、四十六年前、全腎協立ち上げの頃の「誰でも等しく透析が受けられるようになる」ことを熱望し命を削りながら戦ってこられた先輩たちのご苦勞に比べれば大したことではないと思わずにはいられない一日でした。



全腎協馬場亨会長のあいさつ



全国で集められた署名の山

透析患者の現況

透析患者を取り巻く実態がどうなっているのでしょうか。愛知県と全国の調査結果と比較しながら記していきます。なお、愛知県の調査は、平成二十七年

度末の愛知県腎臓財団による報告から、全国は厚生労働省「人口動態調査」に基づいています。
透析患者数
全国で三十二万四千九百八十六人
愛知県一万七千八百人(男子：一万一千四百六十人、女子：六千三百四十人) 東京・大阪・神奈川に次いで第四位の患者数

透析導入年齢

全国：平均年齢69・2歳

※

糖尿病性腎症 67・29歳

慢性糸球体腎炎 68・77歳

腎硬化症 75・33歳

透析導入患者の原疾患

1 糖尿病性腎症

全国：43・7%

愛知：34%

2 慢性糸球体腎炎

全国：16・9%

愛知：33%

3 腎硬化症

全国：14・2%

愛知：11%

※二〇一〇年までは、慢性糸球体腎炎が1位、糖尿病性腎症が2位、腎硬化症が3位でしたが、糖尿病性腎症と慢性糸球体腎炎が逆転し、その後ずっと現在の順位になっています。傾向としては、糖尿病性腎症が増加、慢性糸球体腎炎は減少、腎硬化症は微増にあります。

透析患者の死亡原因

全国

1 心不全：26%

2 感染症：22%

3 悪性腫瘍：9%

愛知

1 心不全：21%

2 感染症：16%

3 悪性腫瘍：8%

※全国的に見て、心不全は少しずつ減少傾向にあるというものの横ばい、感染症が一貫して増加しています。

日本人全体の死亡原因

1 悪性腫瘍：28・7%

2 心疾患：15・8%

3 肺炎：9・9%

透析患者の粗死亡率

透析導入の平均年齢が高くなっていることや糖尿病性腎症、腎硬化症の増加など予後不良な患者の導入が多くなっていることから粗死亡率は、年々悪化傾向にあり9・6%となっています。

導入後の生存率

1年：89% 5年：60%

10年：36% 15年：23%

20年：15% 25年：12%
30年：9%

1年後と5年後の生存率は一貫して改善傾向にあり、10年以降の期間では少しずつ悪くなる傾向にあります。

最長透析期間は47年6ヶ月です。

これら統計の調査結果から今後の愛腎協が取り組むべき課題が見えてきます。患者の皆さんも日々の生活で留意しなくてはならない点をご自分で考えてみてはいかがでしょうか。

この1年を振り返って 東尾張本部長 小出 優

前本部長の浦西康夫さんから引き継いで一年が過ぎようとしています。浦西さんは残念ながら昨年8月にお亡くなりになりました。それまでのご功績に対して、心より感謝申し上げますとともに、ご冥福お祈りいたします。

さて、本部長をさせて頂き感じたことは、いかに何も知らなかったかということです。愛腎協の活動が本当に多岐にわたっていることを目の当たりにして驚きばかりでした。私の役目として、できる限り会員の皆さんへ情報提供をすることと心得て、「いきいき通信」を発行してきました。まだ十分にお伝えできていないと考えていますので心して発行していきます。

愛腎協の会費は、全国で最も会費が安いです。それでも愛知県は透析患者にとって他県に比べ最も恵まれています。恩恵が何もせずに生まれたものではないこと、今後も当たり前が続くわけではないことを一人一人の患者の皆さんに思い起こしていただきたいのです。多くの患者の声をお一人お一人のよりよい透析ライフのために結集して、大きな力にしましょう。

透析患者の命と暮らしを守る

一般社団法人 愛知県腎臓病協議会(愛腎協)は、これからもより良い透析生活にするための活動をしていきます。それには皆様の力が必要です。

少しでも長く現在の「透析医療費無料」を継続させましょう。たくさんの方の声を(国)(県)(市長村)へ届けましょう。

そのためにも、ぜひこの機会に入会して一緒にできることから始めましょう。

新規会員の
入会募集中

継続手続も
忘れずに
しましょう

地域腎友会
の活動にも
ご協力を

青年部
女性部
会員募集中

ご入会についてのご連絡・ご質問は、一般社団法人愛知県腎臓病協議会事務局まで御連絡ください。

TEL 052-228-8900 FAX 052-228-8901 e-mail aichi1970@ajinkyoo.com

高齢化への課題を愛腎協と共に

来年度の組織率60%を

目標にしています!

